

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分
 【発行日】平成 17 年 9 月 2 日 (2005.9.2)

【公開番号】特開 2004-353667 (P2004-353667A)
 【公開日】平成 16 年 12 月 16 日 (2004.12.16)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-049
 【出願番号】特願 2004-148940 (P2004-148940)
 【国際特許分類第 7 版】

F 0 2 C 7/28

F 0 2 C 7/18

F 0 2 C 7/24

【F I】

F 0 2 C 7/28 C

F 0 2 C 7/18 C

F 0 2 C 7/24

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 5 月 9 日 (2005.5.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 1 つのノズル (7) によって延長されている後燃焼室 (2) を、タービンの下流側に備える航空機ターボマシンであり、前記後燃焼室は、ケーシング (4) 内に配置される断熱ライニング (3) によって径方向に画定されており、前記ケーシングおよび前記ライニングが、共に動作時に二次流が生じる環状チャネル (5) を画定し、前記ケーシング (4) に固定される環状ダイアフラム (6) は、前記チャネル (5) の下流側端に配置されており、前記ノズル (6) は、前記ケーシング (4) の上流側端に蝶番式に取り付けられる複数のフラップ (8) を備えており、各フラップは、前記フラップと協働する断熱プレート (10) が内面に取り付けられ、前記ダイアフラム (6) によって送られた冷気が供給される通路 (11) を画定する航空機ターボマシンであって、

前記通路 (11) への冷気の供給は、環状ダクトによって提供され、該環状ダクトが、第 1 の可撓性環状ガスケット (30) によって外側で画定され、該第 1 の可撓性環状ガスケット (30) は、二次流の圧力からの付勢下でケーシング (4) の下流側内面とフラップ (8) の上流側内面に対して保持され、動作時には、ケーシング (4) の下流側内面とフラップ (8) の上流側内面に摺動接触して押圧され、また、前記環状ダクトが、第 2 の可撓性環状ガスケット (40) によって内側で画定され、該第 2 の可撓性環状ガスケット (40) の上流側端 (40a) が、ダイアフラム (6) の径方向内側ゾーンに固定され、かつ該第 2 の可撓性環状ガスケット (40) の下流側端 (30c) が、断熱プレート (10) の上流側内面に摺動接触して押圧されることを特徴とする、航空機ターボマシン。

【請求項 2】

ダイアフラム (6) と断熱ライニング (3) との間のシーリングを提供するための第 3 の可撓性環状ガスケット (50) をさらに含んでおり、前記第 3 のガスケットが、前記断熱ライニング (3) を摺動可能に担持する下流側端 (40c) によって、ダイアフラム (6) に上流側で保持されることを特徴とする、請求項 1 に記載のターボマシン。

【請求項 3】

各環状ガスケットは、複数のセクタ（７０）によって構成されており、各セクタが、２つの重複プレート（７１、７２）を備えており、該重複プレートが、共に接続され、かつ２つの隣接するセクタの縁が重複するように周方向にオフセットされ、各プレートは、別のプレートによって閉鎖される複数の軸方向スロット（７３）を下流側に提供することを特徴とする、請求項１または２に記載のターボマシン。

【請求項４】

スロット（７３）が、前記ガスケットの軸方向範囲の少なくとも半分にわたって延びていることを特徴とする、請求項３に記載のターボマシン。

【請求項５】

セクタ（７０）のプレート（７１、７２）が、溶接またはロウ付けによって共に接続されることを特徴とする、請求項３または４に記載のターボマシン。

【請求項６】

ダイアフラム（６）は、チャンネルセクションリングによって構成されており、前記チャンネルセクションリングのフランジ（２１、２２）が、上流側に延び、また前記チャンネルセクションリングのウェブ（２３）が、オリフィス（２４）を含み、径方向外側フランジ（２１）は、前記フランジと前記ケーシングとの間に環状間隙（２７）を残す手段によってケーシング（４）に固定されており、第１のガスケット（３０）の上流側端（３０ａ）は、前記間隙（２７）の隙間によって受け取られることを特徴とする、請求項１から５のいずれか一項に記載のターボマシン。

【請求項７】

第２のガスケット（４０）の上流側端（４０ａ）は、径方向内側フランジ（２２）に支持プレート（６１）を固定するリベット（６０）によって、前記支持プレート（６１）と径方向内側フランジ（２２）の径方向内面との間にクランプされて保持されることを特徴とする、請求項６に記載のターボマシン。

【請求項８】

第３のガスケット（５０）の上流側端（５０ａ）は、前記リベット（６０）によって支持プレート（６１）の径方向内面に固定されることを特徴とする、請求項２または７に記載のターボマシン。

【請求項９】

前記リベット（６０）は、断熱ライニング（３）の外面を摺動可能に担持するヘッド（６２）を有することを特徴とする、請求項７または８に記載のターボマシン。

【請求項１０】

各断熱プレート（１０）は、単一の固定装置（８１）によって結合されるフラップに固定されており、前記フラップ（８）および前記プレート（１０）は、軸方向スライドウェイおよびレールシステムによって、前記固定装置を中心に回転する際に相互に対して移動することを防止され、前記断熱プレート（１０）は、上流側端および径方向内面において、軸方向に凸状の表面（８０）を提供し、ノズル（７）の環状動作範囲全体にわたる第２のガスケット（４０）の下流側端（４０ｃ）との接触によるシーリングを提供することを特徴とする、請求項１から８のいずれか一項に記載のターボマシン。